



## 3学期始業式 式辞

令和4年1月6日

新しい年が始まりました。令和4年、2022年となりました。

2学期の終業式では、去年の「今年の漢字：金」から、「金メダル」の話をしました。

「目標に向けて頑張った」、「爽やかあいさつや黙々そうじに取り組んだ」、「日常を丁寧に生きた」、そういう自分に金メダルを、そして「感謝」できる人の思いやりにも「金メダル」。といった話をしました。



中には、「自分にはちょっと金メダルはなあ」と、残念な思いを抱いたり悔しい気持ちになったりした人もいるかもしれません。そういった人にも、もちろん金メダルをあげられた人にも、いいチャンスが巡ってきました。それは、「新年」という一年に一度しか来ない貴重な「節目」です。

「節目」には、長いものから短いものまでたくさんあります。「世紀」という100年を区切りとするものから、一年、ひと月、一週間、一日などの節目があります。学校だと1学期、2学期、3学期、というものも節目とっていいと思います。

節目には、新たな気持ちになって、頑張ろうという気持ちが湧くものです。確かに、「今年こそ」「今月は」「今日中に」と、節目が一つのエネルギーの元になっているようです。特に新年という節目は、年の初め、3学期の初めという二つの節目が重なる時です。

この、「新年」という節目を活かして、今年の自分に「金メダル」をあげられるよう目標を立て、こうありたいと思いつけ、そして、それに向かって頑張ったり行動したりできるといいですね。

「節」といえば、「竹」を連想します。竹は木より硬くないけれど、「節」があることで、揺れても揺れてもなかなか折れないしなやかさを持っています。皆さんも節目節目には、気持ちを新たにしっかりと節を固めて、丈夫な体や心をつくっていきましょう。



それでは、新年に気持ちを新たに、令和4年、2022年が皆さんの「心の金メダルの年」となることを願って始業式のお話とします。

(校長 上野 明彦)